

ハンガーゼロ (日本国際飢餓対策機構) は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体 (NGO) です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合 (Food for the Hungry International Federation) の一員として、18カ国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころとからだの飢餓」に応える活動をしています。

協力企業のフェアトレード商品ご購入を通して、開発途上国の人々に温かいご支援をありがとうございました。2022年もよろしくお申し込み申し上げます。



### 阪神淡路大震災追悼の集い

1月17日(月)午後2時半から、大阪クリスチャンセンター OCC ホールで「阪神淡路大震災追悼の集い」(主催:モリユリ・ミュージック・ミニストリーズ)が開催されます。親善大使の森祐理さんの賛美、元NHKアナウンサー住田功一氏の講演(映像)などのほか、当機構近藤スタッフが被災地支援活動報告をいたします。参加は無料。YouTube「モリユリちゃんねる」での同時配信も行われます。なお、日本各地の被災地支援のための献金があります。問い合わせは TEL.06-4397-3537 (主催)まで。

### 有江 健・元常務理事が逝去

当機構の有江 健元常務理事が、去る11月18日享年88歳にて逝去致しました。葬儀は11月23日に近親者で執り行われました。生前の皆さまのご厚誼に感謝申し上げますとともに、職員一同心より哀悼の意を表します。

### 事務所からのお知らせ

コロナ感染縮小により各事務所の勤務体制は、一部を除いて通常に戻りました。各種手続きで未だお時間をいただいている場合もありご不便をお掛けしておりますことをお詫び申し上げます。

**Hunger Zero の SNS ネットワーキング サービス**

詳しくはこちら

YouTube Facebook Twitter Instagram LINE

国際協力に参加する活動の第1歩目として... YouTubeのチャンネル登録や各種SNSのフォローをお願いします!

### サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

氏名	フリガナ
(TEL)	
住所	〒
申込日	年 月 日 NL 378号

<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月( )円 □ (1□1,000円) ②一時募金として 円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFH サポーター)として協力します。 毎月( )円 □ (1□500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落し申込書を送って下さい。
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在... **51520**

※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。

わたしから始める、世界が変わる

# Hunger Zero News

2022. No.378

ハンガーゼロ・ニュース

1分間に17人(内12人が子ども)  
1日に2万5,000人が  
1年間では約1,000万人が  
飢えのために生命を失っています

新しい年を迎えました。  
貧困と飢餓のない世界の実現のために  
祈りつつ力を合わせてまいりましょう



## Contents

ハンガーゼロ清家弘久理事長	P.2
小西小百合ポリビア駐在員連載	P.3
私から始める特集 私にできることを見つけよう、始めよう!	P.4-5
ハンガーゼロへの遺贈寄付について	P.6
支援してくださる皆さんの広場	P.7

### 発行 清家弘久

発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>  
eメールアドレス [general@jifh.org](mailto:general@jifh.org)  
フェイスブック facebook でハンガーゼロで検索

募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト  
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構  
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1  
TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155  
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室  
TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782  
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6F  
TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132  
沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾン久米202号  
TEL (098)943-9215 FAX (098)943-9216  
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa  
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605  
TEL (510)568-4939 FAX (510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター

●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに1,255,029ポイント(円)のご協力(13,599件)がありました。Tポイント募金で検索。  
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

写真・フィリピン・ミンダロ島地域開発支援 (HOLPFI) 新しい村づくりのために家ごと引越をする村人たち



## 対立から和解へ 真の平和づくりを

「彼らはその剣を<sup>すき</sup>鋤に、その槍を鎌に打ち直し、国は国に向かって剣を上げず、二度と戦いのことを習わない」イザヤ2章4節

2020年から2年間すべての全世界の話題の中心はコロナ・パンデミックでした。コロナとの戦いはまだまだ続いていくでしょう。さらに昨年から世界の至るところで紛争が激化しています。アフガニスタンはタリバン統治に戻ってしまい、特に女性、子どもに対する迫害は目を覆うばかりであると欧米のメディアは報告をしています。また、エチオピアは紛争が北部だけでなく中央部にまで広がり、FHエチオピアも北部での国内避難民キャンプでの活動を縮小し、首都のアジスアベバにスタッフを呼び戻している状況です。戦火が隣国のスーダンやエリトリアにまで広がりつつあります。バングラデシュのロヒンギャ難民はミャンマーに戻る目処がまだ立っていません。

冒頭の聖書の言葉は、ニューヨークにある国連広場の壁に刻まれています。終わりのときに、戦う武器が食料を作る道具に変わっていくというものです。世界各国の心からの願いがそこに刻まれていると思います。

一方、10月号でスタッフのジェロムが紹介したコンゴでの取り組みは、私たちに大きな希望を与えてくれるものです。特にカレミ地域でピグミー族とバントゥー族と一緒に活動する協働農園が始まったことは大きな喜びです。コンゴには200以上の部族がいます。その部族同士はほとんど交わることなく、対立を繰り返しています。ピグミーとバントゥーもそうです。長年抗争を繰り返しています。特に2018年から19年にかけては本格的な

紛争になりました。避難民キャンプでも2つの部族は一触即発の状態であったといいます。2019年から教会の牧師とパメラさんたちが仲介者となって、双方のリーダーを中心とした話し合いが何度も行われてきました。そして21年の9月から協働農園作りが始まりました(写真中央)。最初の話し合いから3年近くたって2つの部族が和解をし、共に汗を流し、働くことで理解し合っていくという取り組みが進められたのです。(農具はすべて日本の皆様の支援金で購入したものです)まもなく最初の収穫物ができそうです。

2014年から始まったコンゴの東部の村づくり(VOC ビジョンオブコミュニティ)は国内避難民だったパメラさんから始まり、9つの村に広がり、カレミ地域は10村目の村づくりです。パメラさんたちの取り組みを見た地元の州政府から依頼され、彼を中心としたハンズ・オブ・ラブ・コンゴのメンバーは新しい村作りを進めています。

ここに希望があります。相対する二つの部族の人々が、お互いを理解し合い平和を築き、新たな村づくりを進める、これが私たちがめざしていることです。「剣が鋤に、槍が鎌に打ち直される」ことは、人の命を奪う武器がみんなが食べる農具に代わっていき、二度と戦いが繰り返されない、真の平和づくりがなされていくということです。ハンガーゼロは今年も私たちが関わっていく地域で国で、真の平和づくりのために飢餓をゼロにするために歩んでまいります。今年もどうぞよろしく願いいたします。

ハンガーゼロ理事長 清家弘久



### コロナ感染から守る「緊急救援募金」に応援をお願いします

募金は、郵便振替又はウェブサイトからクレジットカード決済が利用できます。  
ウェブサイト <https://www.jifh.org> ※ハンガーゼロで検索又は右 QR コードから  
郵便振替 00170-9-68590 日本国際飢餓対策機構 ※記入欄に「緊急救援募金」と明記  
募金集計：11月30日現在で約1,242万円、皆さまの応援を心より感謝いたします。



スマホから募金ページに

連載〈20〉

## ラテンアメリカの人々とともに

ボリビアでのコロナ新規感染者数は、12月1日時点で539,762人(注1)。感染の再拡大が続いています。

2020年10月にコロナ陽性が判明した時、両親がウイルスの存在を信じなかったがゆえに治療の一切を拒否し、亡くなったハンガーゼロ(HZ)支援地のサポーターチャイルド、マガリーちゃん(16歳)。とても心が痛みました。現地地の風習や文化的背景の他、先住民に影響力の強い政党が「コロナは暫定政府が政権維持のために流した偽った情報である」と吹聴し、また全国テレビで「白人のみがかかるウイルスだ」と発言したこともあり、田舎地域の多くの人々がコロナの存在を信じない、また近代医療を拒否することにさらに拍車がかかってしまったのです。その弊害を受けて最も苦しむのは弱い立場の子どもたちです。

### FHスタッフが粘り強く説得

一方、同じ地域でとても嬉しい出来事もありました。同年7月末にHZ支援のソニアちゃんの父親イラリオンさんがコロナに罹患しましたが、本人も家族もやはりウイルスの存在を信じず、治療を拒否しました。そして症状が悪化するにつれて家族は絶望と無力感で農作業が手に着かず収入が無くなり、それを補う為に羊やリャマなどの家畜を手放したので、生活が困窮していきました。

その事を知ったFH(注2)スタッフ

変わるものとは  
変わらないもの



ボリビア多民族国  
駐在 小西小百合



イラリオンさんの病状を診るFH保健衛生スタッフ



快復を喜ぶイラリオンさんと妻のシリラさん

は、家庭を訪問して家族を聖書の言葉で励まし、共に祈りました。またコロナ感染の症例が実際に確認されていることを説明し、医師の診察と治療を勧めました。それでもイラリオンさんは治療を拒否し続けましたが、FHスタッフはあきらめずに祈り、物心共の支援を続けた結果、11月に彼はついに治療を受ける決心をしたのです。彼は徐々に快復。家族は神様に感謝し、彼も家族も将来に向けて希望が持てるようになりました。

イラリオンさんはこのように言っています。「最初はこの病気を信じませんでした。FHスタッフが訪問してくれたおかげで、神様に祈りつつ診療所に通って治療を受け、元気になることができました。家族を養うことの大切さについてもわかりました。」

一人の人の価値観の変革は容易ではありません。悲しい出来事も多々あります。しかし「目の前のこのひとり」に関わっていく事が、その人のみならずその人の家族、隣人、地域の人々の価値観と生き方の変革へとつながっていきます。そのことを覚えつつ、これからもこの活動を続けていこうと思っています。

注1) 資料：在ボリビア日本大使館

注2) 国際飢餓対策機構





ハンガーゼロ  
Hunger Zero

# 飢餓ゼロ実現にチャレンジ

Child Supporter  
チャイルドサポーター



わたしから始める、世界が変わる

まず私にできることを見つけよう、始めよう！

子どもたちの希望になろう

## 生活の中から“始める”

### ●フェアトレードの商品を購入する

開発途上国の生産者から適正な価格で買い取られた商品などを扱う協力企業（株式会社キングダムビジネス）から買って支援する。近年はコロナ禍でイベントなどへの出展が厳しくなり、通信販売が主となっていますが、ぜひご利用ください。商品の購入がハンガーゼロへの支援にもなります。



人気のフェアトレードチョコレートは1月末までの限定です。P.8に商品案内が掲載されています。誕生日プレゼントや贈り物にいかがですか。

### ●ハンガーゼロ自動販売機を利用・設置する

飲み物を買くと1本につき10円がアフリカの人々の支援に用いられます。また防災対応のハンガーゼロ自動販売機を設置していただくと、緊急災害時の備蓄用としてパンの缶詰、水、各96個が無償で提供されます。現在、全国で114台が稼働中です。さらに設置して下さる方を求めています。



越木木材工業さんでは複数台を設置

### 【2020-2021年度募金実績】

設置 114台 2,899,658円

設置のご相談は大阪事務所までご連絡ください。設置費用は必要ありません。飲料の補充や空き容器の回収も業者が行います。

### ●ネットを活用して支援の輪を広げる

自分のホームページやブログ、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターなどのSNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用して、飢餓の現状を伝え、支援の輪を広げてください。ハンガーゼロ YouTube チャンネル登録にご協力ください！

わたしから始める



LINE スタンプ  
(キングダムビジネス)



### ●『本 de リンク』で支援する

ハンガーゼロ各事務所では送られた本や CD・ゲームソフトを換金して、飢餓・貧困に苦しむ人々の支援に使わせて頂いています。引越し、大掃除の際にもぜひお送りください。ご質問等は各事務所にお問合せください。

### 【2020年7月～12月実績】※愛知・大阪事務所

33,300円（本、CD、DVDなど）

\*送料をご負担ください。以下のものはご遠慮ください。

本：破れ、汚れ、書き込み、個人出版、文学全集など  
CD 類：ケース割れ、ジャケットや歌詞カードの不備、海賊版、カセット、レコード、VHS ビデオなど。

### 大切なお知らせ



2022年から大手金融機関の多くで窓口と ATM での**硬貨入金手数料の有料化**が始まりました。このため入金時に募金箱に貯めてくださった硬貨の総額よりも手数料が高くなる場合があります。ハンガーゼロは支援者様の善意が支援金とならないことを避けるために、硬貨募金の受付（支援者様から募金箱を直接受け取らせていただく）を本年早い段階で終了する方向で検討しております。大変申し訳ありませんが、硬貨を伴う募金につきましては①お振込②紙幣に換金の方法でお届けくださるようお願いいたします。なお「硬貨募金」につきましては、本紙3月号にて詳しい説明と今後の方針をお知らせいたします。

## 参加や計画して“始める”

### ●世界食料デー募金に協力する

2021年の世界食料デー大会は、一昨年に続きコロナ禍で通常開催ができなかった大会もありました。それでも各実行委員会では、オンラインでの開催やキリスト教会では個別に世界食料デーに賛同する支援集会などを開いて引き続き温かい応援を続けてくださいました。世界ではコロナにより生活環境がさらに厳しい状況になっている人々が増えています。ぜひ支援の手を伸ばし続けていきましょう。個人でオンラインを活用して始めることもできます。事務局（東京事務所）までご相談ください。



トヨタカローラ愛豊（チャリティ）

### ●ハンガーゼロパートナーになる

ハンガーゼロには通常のボランティア参加よりさらに一歩進めて、ご自身のスキルを使って支援の輪を広げる役割を担って下さる「ハンガーゼロパートナー」があります。募金活動の実施、広報活動（SNS等）、プロボノ（スキルを生かした動画編集、翻訳他）など様々な形で協力していただけます。東京事務所までお問い合わせください。TEL:03 (3518) 0781 メール: tokyo@jifh.org

### 【パートナー：門紅琳さん】

大学に掲示されていたハンガーゼロ・ニュースを読んだことをきっかけに、「私も何か行動を起こしたい」と心に強く感じ、その想いをハンガーゼロ事務所にご連絡しました。踏み出したその小さな1歩によって、様々な学びや働きにつながりました。遠い国々で起こっていると感じていた飢餓問題が身近な問題として捉えられるようになったことがこの半年間の大きな一歩となりました。（大阪事務所にて）



### 【パートナー：ヴァンカヤラパティ・キールティ・キリーティさん】

「飢餓に苦しむ人々のために仕える」というハンガーゼロのモットーに強く惹かれて、パートナーになることを決めました。活動を通して社会の発展と成長に貢献できることに大きなやりがいを感じています。昨年の世界食料デーでは食料廃棄に関する啓発動画を制作しました。食料廃棄問題の解決は私たちにかけっており、私たちの小さな取り組みが一人一人の食料廃棄の削減への励ましとなれば幸いです。（東京事務所にて）



### ●ハンガーゼロ親善大使

さまざまな分野で活躍されている親善大使の皆さんがチャリティーなどの催しに出演して下さいます。詳しくは、東京事務所までお問い合わせください。



## 募金を“始める”

- 「ハンガーゼロサポーター」になる。（一口1000円/月）
  - 「チャイルドサポーター」になる。（子ども一人4000円/月）
  - 「JIFHサポーター」になる。（一口500円/月）
  - 「海外スタッフサポーター」になる。（一口1000円/月）
- 他「Tポイント募金」Tポイントカードの保有ポイントで募金する。  
「つながる募金」スマホやPCから支援する。  
「ストライプ募金」動画配信時などで随時募金する。

Okuda DESIGN PROJECT

貸したい時も、借りたい時も。不動産賃貸のご相談は—

インターネットでお部屋探し。  
[www.okuda-re.co.jp](http://www.okuda-re.co.jp)

代表取締役社長 奥田 英男  
〒197-0003 東京都福生市熊川 447-9

042(552)0102(代)

※「協賛広告」を募集しています。ウェブにも掲載。詳しくは東京事務所・近藤まで





少しずつお問い合わせをいただいています

# ハンガーゼロへの遺贈寄付 についてお答えします



## ハンガーゼロ理事・崔 信義 弁護士に聞く

**Q1 慈善団体への遺贈寄付について、社会的関心が高まっていますが…**



生前得た自分の財産を、死後に自分が望むように使ってほしいと思うのは自然な感情です。それを実現するための一つとして、民法は遺言という形式で「遺贈」する方法を認めています。

自分の家族の他、慈善団体に対する遺贈が増えてきています。寄付金によって運営する慈善団体にとって、遺贈はその活動を支える重要な財源です。

**Q2 遺言を作成する必要がありますか**

はい。遺贈はご本人の意向を死後において確実にするために重要な制度ですので、通常遺言という形式を踏まなければなりません。

遺言には、普通、遺言者が自ら遺言書を作成する「自筆証書遺言」、公証人が遺言者の口授をもとに公正証書として作成する「公正証書遺言」、遺言者が封じた遺言書を公証人が公証する「秘密証書遺言」の3種類があり、それぞれに長短があります。公証人に作成を依頼するので幾らか費用が掛かりますが、内容の毀損・変更の恐れがなく、検認の手続きも必要のない公正証書遺言がよろしいのではないのでしょうか。

**Q3 「公正証書遺言」を作るにはどうしたらよいですか**

ハンガーゼロに遺贈という形で寄付したいと考えてい

らっしゃる方のために、弁護士として遺言の意思を明確にする公正証書遺言の作成を援助しています。

公正証書遺言を作成する場合には、資料の取り寄せや作成、遺言執行者の選定、ご本人の意向の具体的な確定をして、遺言書の原稿となる文章を作成します。このような作業を、弁護士がご本人と一緒にこない、公証人役場で正式に公正証書遺言として成立します(ご本人が入院等で公証人役場に赴くことができない場合には、公証人が病院等に出張することもあります)。

**Q4 弁護士費用は必要ですか**

ハンガーゼロに遺贈したいという方であれば、基本的に弁護士費用は無料です。相談のために弁護士がご自宅等に伺う際の交通費や、資料の取り寄せ費用、公証人に支払う費用等は、実費なのでお支払い頂くこととなりますが、実費以外の弁護士報酬は基本的に無料としています。詳しくは相談時にご説明します。

弁護士費用を無料とすることで、遺言書作成に伴うはん雑さと金銭的負担というハードルがいくらかでも低くなって遺贈し易くなり、それによってハンガーゼロの活動が推進され、「飢餓のない世界」の実現が一步前進するなら、皆様同様、私にも大きな喜びです。

**遺贈寄付についてのお問合せ、ご相談はこちらへ**  
 お気軽に電話かメールでご連絡ください。  
 電話：03-3518-0781 (東京事務所・近藤)  
 メール：tokyo@jifh.org



私たちロングライフグループは、ハンガーゼロの活動を応援しています。

ロングライフは1986年の創業よりケアサービスひと筋。全国に展開しています。

Health & Natural Beauty  
**ロングライフグループ** ResoLife 2996 LongLife  
 受付時間 9:00~18:00 年中無休  
**0120-550-294**  
 大阪本社 / 〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 東京本社 / 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階  
 ロングライフグループ拠点: 北海道 / 埼玉 / 東京 / 神奈川 / 千葉 / 静岡 / 愛知 / 大阪 / 兵庫 / 京都 / 大分 / 沖縄 / 中国 (青島) / 韓国 / インドネシア (ジャカルタ)



金城学院高等学校の皆さんが、学校祭の取り組みを通して支援してくださいました。中心となって活動して下さった生徒会副会長の加藤萌さんと顧問の吉岡先生にお話を伺いました。

生徒会執行部では毎年、学校祭で社会貢献の取り組みをしています。新型コロナの流行によって国内の問題に目が向きがちなので、今年は海外で困っている人たちに支援を届けたいと思い、ハンガーゼロに問い合わせました。最初は何か物を作って届けようと思っていましたが、輸送コストや通関手続きなど現地でも

## 手作り石鹼販売などでルワンダを応援 金城学院高等学校の皆さん (愛知県)

お金や手間が多く掛かることを知り、現金にして送った方が助けになると考えが変わりました。また、せっかく高校を卒業したのにコロナの影響で就職できなかったルワンダの若者たちが、石鹼の需要が伸びていることに目をつけて起業した話を聞いて、ぜひ応援したいと思いました。

**集まった有志 27名で76個の石鹼が完成**

わたしたちも石鹼を作って販売することにし、有志を募集したところ27名が集まりました。ルワンダの若者たちと



同じ製法で作りたいかったのですが、材料の入手が困難だったので石鹼素地を使い76個の石鹼を作りました。さらに、フェアトレードに関心があったので、キングダムビジネスの商品を検討していたところフレーバーティーが目にとまりました。コロナ禍で増えた家で過ごす時間を豊かにしてくれるし、学生が購入するのに手頃な価格だったので、販売を決めました。



**ルワンダの取り組みを紹介する動画も作成**

コロナ禍の影響で学校祭の一般公開が中止されたため保護者などの来校が見込めず、生徒だけでどれだけ買ってくれるか不安がありました。そこで、有志グループの石鹼作りの様子やルワンダの若者たち

の取り組みを動画にして、各教室で放送してもらうことで事前にアピールしました。ルワンダの取り組みやフェアトレードについて紹介するポスターも2枚ずつ作成し、当日の販売アピールに用いました。密になるのを避けるため当日の販売はなしで希望商品を申込書に記入してもらい、後日、代金と引き換えに商品を渡すという形になりましたが、多くの生徒が呼びかけに応え、先生方も応援してくれたおかげで石鹼もフレーバーティーも完売しました。

フレーバーティーは種類が豊富だったので選ぶ楽しさがあり、香りも味も好評でした。フェアトレード商品の販売は楽しかったですし、石鹼を手作りするという体験を通してルワンダの若者たちを身近に感じることができ、楽しいだけではなくとても意味のある取り組みができたと思います。今回ハンガーゼロと協力したことで、自分で調べただけでは出て来ないような現地の様子を知ることができました。同年代の若者達が逆境に負けず、学校で学んだ知識を実践に移して頑張っている姿を見てわたしたちも見習わなければならないと思いました。

備蓄をしながら社会貢献 世界にパンを届けよう

**救缶鳥** Kyu-Can-Cho

皆様から回収された救缶鳥は各地に飛んでいきました!

食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。

おいしいと夢をお届けします。 **株式会社パン・アキモト** since 1995

〒329-3147 栃木県那須塩原市東小屋295-4 TEL 0287-65-3351

パン・アキモト 検索